

宇部護国神社秋季大祭開催 戦後80年、不戦の誓い

令和7年9月23日(火・祝)10時30分から宇部護国神社において秋季大祭及び慰霊祭が開催され、隊友会から1名が参加しました。早朝からの雨が心配されましたが、慰霊祭開催時刻が近づくと雨も上がり、関係者を安堵させました。

この式典は先の大戦等で戦火に散華した先人の英霊に対し哀悼の意を表するとともに、過去の過ちを繰り返さないことを誓う儀式です。会場には遺族会の総代で宇部市議会議員の岩村誠氏、衆議院議員 高村正大氏、元衆議院議員 杉田水脈氏、参議院議員代理秘書、山口県議会議員の二木健治氏、氏原秀城氏や企業・団体の代表者など多数が参加して、厳かな雰囲気の中で整斉と実施されました。

祭典では宮司による祭詞奏上、二人の巫女による奉納の舞、戦後80周年の催しとして大太鼓演奏などが行われました。大祭の最後に来賓の数名から御挨拶があり、高村議員は御自身の祖父がペリリュー島の戦闘に参加されたことを紹介し、先の戦争で犠牲となった方々の努力の賜物として、現在の平和を我々は享受していることを改めて説明されました。また、二木議員は現在東京で開催されている世界陸上競技選手権大会に参加したウクライナの子供高跳びを引き合いに出し、日本で健全なスポーツが開催されていることに対し、改めて平和の尊さを訴えられました。

なお、12時からは直会と併行して洋楽、ハーモニカ演奏などが披露され、大祭に花を添えました。また、17時からは境内で餅撒きが行われ、大祭が無事終了しました。



(写真左) 政務多忙にも関わらず参列された高村議員。平和国家、日本において不戦の誓いを新たにされた。

(写真右) 敷地内参道沿いに常時開設中の559(護国)カフェ。今年は小雨混じりで若干肌寒い日だったが、手前ではかき氷や冷たい飲み物の販売も・・・。



宇部護国神社の清掃(草刈り)作業実施

8月3日(日)、8時30分から宇部護国神社の清掃(草刈り)作業を実施しました。参加者は、落合参与のほか、協力会員の増重慎二氏とご子息の増重修君の参加で、総勢7名の有志達です。

この日は熱中症警戒アラート発表中のため早めに作業を開始し、早めに終わらせようと早速作業を開始しました。皆、草刈機の操作は、お手の物で、境内全域に渡って刈取り、刈草の処分を実施し、境内も綺麗に掃き清め、英霊に哀悼を捧げました。



今回の作業に参加された7名(カメラマンの近本さんをを含む)。平均年齢は??歳ですが、少数精鋭で頑張りました。

前列、向かって右側は増重さん(後列右)のご子息。



作業に集中する中野さん



福原越後公の銅像